Cisco TelePresence
Profile シリーズ
Codec C シリーズ
Quick Set C20
SX20 Quick Set
MX200
MX300

TC7.0

ユーザ ガイド

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence
Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20
SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目次

このユーザ ガイドの内容

初めに

ベスト プラクティス 4
タッチ スクリーンについて 5
マイクの動作とプライバシーについて 6
着信拒否 7
自画面を使用してカメラを調整する 8
カメラのプリセットを追加する 9
既存のカメラ プリセットを編集する 10
着信音 11
自身の資格情報を使用してシステムにログインする 12

ビデオ ミーティング

名前、番号、または住所を使用して発信する 14
連絡先に発信する 15
発信前に、エントリを [お気に入り] に追加する 16
発信前にエントリを編集する 17
発信前に帯域を変更する 18
発信前に、[履歴] リストからエントリを削除する 19
着信を受ける 20
通話中に別の着信を受ける 21
通話を他者に転送する 22
2 人との通話中に、1 人とだけ話す 23
通話中のタッチ トーン（DTMF） 24
出席者の詳細を取得する 25
通話中に、相手先をお気に入りに追加する 26
通話中にカメラを制御する 27
他の出席者のカメラを制御する 28
自画面 PiP を移動する 29
自画面 PiP のサイズを変更する 30

ビデオ会議

ビデオ会議を作成する 32
MultiSite を使用して複数の人に発信する 33
Multiway または CUCM を使用して複数の人に発信する 34
通話中に別の着信を受ける 35
通話中にレイアウトを変更する 36
出席者とステータスのリストを呼び出す 37
他の出席者と会議の接続を切断する 38
[プレゼンターとして固定] - プレゼンターを固定する 39
出席者の 1 人をお気に入りに追加する 40
他の出席者のうち 1 人のカメラを制御する 41

コンテンツの共有

プレゼンテーションを開始 / 停止する 43
レイアウトを変更する 44

スケジュールされたミーティング

ミーティングのリストを呼び出す 46
スケジュールされたミーティングに参加する 47
並行ミーティング 48

連絡先の管理

履歴 50
ディレクトリ 51
お気に入り 52

設定の管理

設定にアクセスする 54
着信音とサウンド 55
カメラ操作 56
メインソースの選択 57
言語を選択する 58
日付と時刻を設定する 59
システム情報 60
通信状態 61
診断モード 62
再起動 63
管理者 64
[管理者設定] - [通話の詳細] 65
[管理者設定] - [プロビジョニングウィザード] 66
[管理者設定] - [マルチポイントモード] 67
[管理者設定] - [IP と VLAN] 68
[管理者設定] - [ネットワークのステータス - タッチ] 69
[管理者設定] - [SIP] 70
[管理者設定] - [H323] 71
[管理者設定] - [EMC レジリエンスモード :] 72
[管理者設定] - [Web スナップショット] 73
[管理者設定] - [初期設定へのリセット] 74

この目次のすべての項目はハイパーリンクとなっており、項目をクリックすると対応する記事に移動します。

章と章の間に移動するには、サイドバーのいずれかのアイコンをクリックしてください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ビデオ システムを使用する前に、機器の重要な部分が適切に設定されていることを確認してください。たとえば、カメラがホワイトボードではなく自分を映していること、カメラのプリセット（該当する場合）が動作することなどです。

ビデオ会議を初めて利用する場合は、次のページの記事「ベスト プラクティス」をお読みください。

初めに

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ベスト プラクティス

効果的なビデオ会議では、出席者の距離がどれだけ離れていても、対面式の会議を行えます。ビデオ会議であっても、会議であることには変わりありません。通常のマナーや、服装を心がけるようにしてください。

一般

- ユニットを [自動応答] に設定することを検討してください。TC7.0 から使用可能な新しいマイクの動作を観察してください（6 ページの「マイクの動作とプライバシーについて」を参照）。
- 必要に応じて、ビデオ システムの動作を確認してください。

会議室

- すべての発表の音声が拾われるよう、マイクをテーブルの前方に設置します。システムから少なくとも 2m（6.5 フィート）ほど離れた、テーブルの手前の端からの距離が 0.3m（1 フィート）以上の平らな台が最適です。
- 指示用のマイクは、ビデオ システムから離れた場所に向ける必要があります。
- マイクは、発表する出席者から常に見える場所に置いておくようにしておきます。
- 常に、テーブルに置かれたコンピュータやプロジェクタのファンなどのノイズ源から離れた場所にマイクを置いてください。これらのノイズ源からの雑音は、遠隔地の出席者には、予想以上に大きく聞こえます。
- ドキュメント カメラを使用する場合は、カメラが会議のリーダーまたは指定されたコントローラの近くに配置されるように、出席者の位置を調整してください。
- すべてのペリフェラルは、1 人の出席者が手を伸ばして、会議の最中にポイント、ディスプレイ変更、記録などの操作を行える場所に置いてください。
- 最も自然なミーティング環境を確保するには、受信モニタの上部中央にカメラを置いてください（可能な場合）。遠くにいる会議の相手とアイ コンタクトを行えるよう、カメラは、会議出席者に直接向ける必要があります。ビデオ システムの自画面機能を使用して確認してください。自画面には、自身のシステムから遠隔地の出席者に表示される映像（発信ビデオ）が表示されます。
- コンテンツを共有する場合、通常はデュオ ビデオを使用します。つまり、2 本のビデオ ストリームを使用します。1 本はプレゼンテーション用、もう 1 本は発表者（または発表者グループ）用です。小規模のシステムの場合、プレゼンテーションと発表者のどちらを表示するかを選択しなければならないことがあります。
- デュオ ビデオの場合、注意が必要な点があります。デュオ ビデオでは、多くの場合、画面の横半分にプレゼンテーション、残りの横半分に発表者が表示されます。すべてリモート モニタで表示される場合、プレゼンテーションに背中を向けるのではなく、プレゼンテーションに目を向けている印象を与えるようにしてください。分からない場合は、カメラのほうを真っ直ぐに向いて、このような状況を回避してください。

使いやすさ

- 会議出席者がダイヤル、プレゼンテーションの追加、および通話中にその他の機能を使用できるよう、室内にポスター、テーブル テント、またはその他のクイック リファレンス ガイドを置くことを検討してください。

その他のヒント

カメラのプリセットの使用

Cisco TelePresence システムでは、ズームおよびカメラの向き（パンと傾斜）を事前定義できます。必要であれば、これらを使用し、発表者にズームします。後からズーム アウトすることを忘れないでください。

スピーカのボリューム

オーディオ システムでは、モニタに内蔵されたスピーカか、Cisco Digital Natural Audio Module を使用します。

システムによっては、モニタのリモートを使用してボリュームを調整し、デフォルトのボリュームを設定できます。

明るさのコントロール

モニタの明るさや色などの設定を調整するには、モニタのリモート コントロールを使用してください。会議室の条件に合わせて、モニタを調整してください。シスコのモニタには、非常に簡単に使用できる、画面上のメニューがあります。このようにモニタを設定する方法については、対応するユーザ ガイドと管理マニュアルを参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

タッチ スクリーンについて

*着信拒否*機能をアクティブ / 非アクティブにする場合、*スタンバイ*機能をアクティブ / 非アクティブにする場合、および [設定] にアクセスする場合は、ここをタップします。

ヘルプ デスクにアクセスするには [?] を タップします（表示されている場合）。

自画面とカメラ設定をアクティブにするには [カメラ] アイコンをタップします。

時刻を指定します。

マイクをミュート / ミュート解除するには [マイク] ボタンを押します。

音量を調整するには [音量] バーを使用します（タップしてドラッグ）。

離席中にメッセージを受信した場合は、右下に小さなアイコンが表示されます。

ダイヤル パッドを呼び出すには [ダイヤル] をタップします。

[お気に入り]、[ディレクトリ]、および [履歴] を含む連絡先のリストを呼び出すには [連絡先] をタップします。

今後のスケジュールされたミーティングのリストを呼び出すには [会議] をタップします。

ボイス メール システムを呼び出すには [メッセージ] をタップします（該当する場合）。

コンテンツの共有を開始し、プレゼンテーションを実施するには [プレゼンテーション] をタップします。

システムをウェイクアップするにはタッチ スクリーンをタップします（必要な場合）。

機能をアクティブにするには、ボタンをタップします。

図のようにリストをスクロールします。

着信拒否について

[着信拒否] に設定している場合、呼び出し音はミュートになり、他者からの着信は不在着信として表示されます。

ただし、こちらからは必要時にいつでも発信することができます。

デフォルトでは、[着信拒否] がタイムアウトになるまでの時間（システムが通常の動作に戻るまでの時間）は 60 分です。ただし、この設定は、ビデオ サポート チームによって変更されている可能性があります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

マイクの動作とプライバシーについて

[ミュート] ボタンには、マイクが音声を発信しているかミュートされているかを示す LED があります。

マイクは、緑色の LED が点灯している場合にのみ音声を発信します。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

着信拒否

❶

図のように、左上をタップします。

❷

図のように、[利用可] または [着信拒否] をタップします。

❸

変更を適用してメニューを終了するには、メニュー以外の場所をタップします。

着信拒否について

着信に応答しないように、システムを設定することができます。この機能を使用して、必要時にいつでも他のユーザに発信することができます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

自画面を使用してカメラを調整する

❶

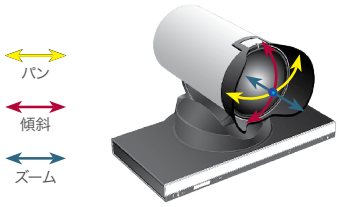
図のように [自画面] をタップします。

❷

ビデオ システムのスクリーンを確認し、カメラ操作を使用して、カメラのパン、傾斜、ズームを必要に応じて調整します。

❸

このメニューを終了して変更を適用するには、アクティブなメニュー以外の場所をタップします。



自画面について

ミーティングが始まる前に、ビデオ システムの自画面を確認することをお勧めします。

自画面では、自身のビデオ システムから他者に表示される映像を確認することができます。通常は、自画面を使用して、目的どおりの映像が他者に表示されるかどうかを確認します。

自画面は、PiP（ピクチャインピクチャ）で表示されます。

自画面 PiP の位置は、必要に応じて変更することができます。詳細については、29 ページの「自画面 PiP を移動する」を参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

カメラのプリセットを追加する

❶

図のように、[自画面] をタップして、カメラ調整メニューを呼び出します。

❷

複数のカメラがある場合は、図のように、カメラ操作の上にあるドロップダウン リストからカメラを選択します。

❸

傾斜、パン、およびズームを必要に応じて調整します。

❹

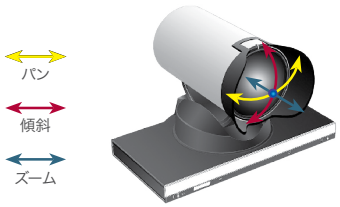
図のように、[新たに追加] をタップします。

❺

わかりやすい名前を入力します。

❻

変更を適用してメニューを終了するには [保存] を、変更を元に戻してメニューを終了するには [キャンセル] をタップします。



カメラのプリセットについて

ほとんどの Cisco TelePresence システムでは、ズームおよびカメラの向き（パンと傾斜とも言います）を事前定義できます。必要であれば、これらを使用し、発表者にズームします。後からズーム アウトすることを忘れないでください。

つまり、1 つまたは複数のズームイン プリセットを作成する場合は、ズームアウト（概要）プリセットも作成して、概要モードに簡単にスイッチバックできるようにする必要があります。

複数のカメラがある場合

一部のビデオ システムでは、複数のカメラを使用することができます。

このため、たとえば 1 台のカメラで出席者の映像を映し、もう 1 台のカメラでホワイトボードを映すことができます。

カメラのプリセットを定義する場合、接続されている各カメラの現在のパンとズームは、そのプリセットの一部として保存されることに注意してください。

このため、カメラの位置を新しいプリセットとして保存する前に、各カメラが所定の位置に配置されていることを確認する必要があります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

既存のカメラ プリセットを編集する

❶

図のように、[自画面] をタップして、カメラで調整する効果を表示します。

❷

複数のカメラがある場合は、図のように、ドロップダウン リストから調整するカメラを選択します。

❸

パン、傾斜、およびズームを必要に応じて調整します。

❹

編集するプリセットの小さな矢印をタップします。

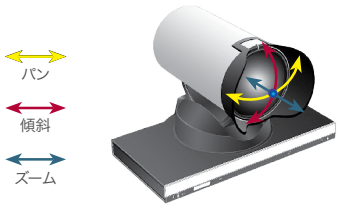
❺

図のように、[現在のプリセットを上書き] をタップして変更を適用します。

既存のプリセットを削除するには [削除] をタップします。

❻

メニュー以外の場所をタップして、メニューを閉じます。



プリセットの編集について

プリセットを編集するには、既存のプリセットを取得して変更し、同じ名前で保存します。

名前を変更する場合は、プリセットを削除してから、適切な名前で新しいプリセットを作成することをお勧めします。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

着信音

❶

図のように、スクリーンの左上をタップし、次に [設定] をタップして [設定] メニューを呼び出します。

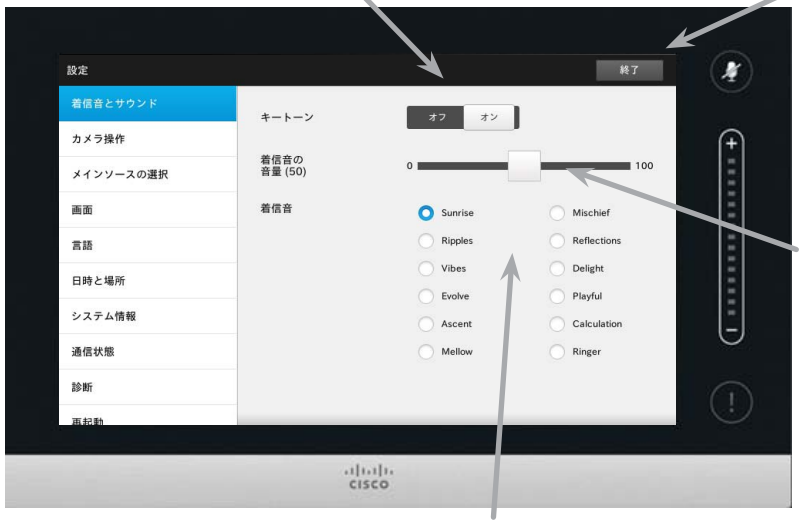
❷

必要に応じて [着信音とサウンド] 設定に移動します。

❸

キートーンは、ここでアクティブ（[オン]）または非アクティブ（[オフ]）にします。この例では、[キートーン] は [オン] に設定されています。

メニューを終了するには、ここをタップします。



着信音の音量はここで設定します。

着信音を選択します。タップすると、着信音が流れます。

着信音について

着信音とその音量は自由にパーソナライズすることができます。また、キートーンを [オン]（ボタンをタップする際にサウンドが鳴ります）または [オフ] に設定することもできます。

ビデオ サポート チームによって、このメニューへのアクセスがパスワードで保護されている可能性があります。パスワードで保護されている場合は、[設定] にアクセスしても、このメニューは表示されません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

自身の資格情報を使用してシステムにログインする

❶

図のように、[サインイン] をタップします。

❷

図のように、プロファイルを選択します。

❸

図のように、
資格情報を入力して
[サインイン] をタップします。

❹

正常にサインしたことが示されます。これで、自分宛ての電話が着信するようになります。

❺

サインアウトするには、図のように [サインアウト] をタップします。

❻

確認メッセージが表示されます。

ホットデスキングについて

会議室および静音室にある、CUCM（Cisco Unified Communications Manager）で実行中のビデオ システムには、自身の資格情報でログインすることができます。

こうすると、CUCM は、自分宛ての着信をすべてそのビデオ システムにルーティングします。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

物理的に離れている複数の人が出席するビデオ会議とは対照的に、出席者が 2 人だけのビデオ ミーティングはポイントツーポイント ビデオ コールと呼ばれることがあります。

この章では、ポイントツーポイント コールについて説明します。ビデオ会議については、次の章で説明します。

ビデオ ミーティング ポイントツーポイント

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

名前、番号、または住所を使用して発信する

❶

図のように、[ダイヤル] をタップして数字のダイヤルパッドを呼び出します。

❷

数字を使用して発信する場合は、番号を入力して、緑色の [発信] ボタンをタップします。

❸

代わりに英数字のキーボードを使用する場合は、図のように [キーボード] (⌨) をタップします。

[その他] (•••) をタップすると、発信する前にその他のオプションにアクセスできます。その他のオプションについては、この後のページで説明します。

❹

受信者の名前または住所を入力します。

❺

拡張数字モードを使用できます。このモードには、特殊文字が含まれています。

英数字モードと拡張数字モードを切り替えるには、図のように、キーボードの左下にあるキーをタップします。

❻

発信の準備ができたら、緑色の [発信] ボタンをタップします。

発信について

連絡先のリストにない人に発信するには、タッチ パッドの仮想キーボードを使用して名前、住所、または番号を入力します。

以前の発信先は、クリアするまで [履歴] リストに表示されます。また、以前の発信先を [お気に入り] リストに転送することもできます。この機能については、「*連絡先の管理*」の項で説明します。

[お気に入り]、[ディレクトリ]、または [履歴] リストに表示されている人に発信する方法については、次のページで説明します。

内線への発信：通話中に、タッチトーン（DTMF）を入力するように求められることがあります。通常は、内線番号や暗証番号を入力するような場合です。

このような場合は、[タッチトーン] をタップしてキーパッドを呼び出します。[タッチ トーン] ボタンは、通話が開始されるとすぐに表示されます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

連絡先に発信する

特定の人を検索するには、[検索またはダイヤル] フィールドをタップして仮想キーボードを呼び出し、次に名前または番号を入力します。入力すると同時に、一致するエントリが表示されます。3 つのリストすべてにおいて、一致するエントリがあるかどうかが確認されます。

❶

特定のリストでのみ検索する場合は、目的のタブ ([お気に入り]、[ディレクトリ]、または [履歴]) を最初にタップします。

一致したエントリがここに表示されます。タップして、エントリを選択します。選択したエントリのバックグラウンドは青になります。

スマートフォンの場合と同様に、リストをスクロールしてエントリを探すこともできます。

タップして、エントリを選択します。

❷

エントリを探して選択すると、[発信] メニューが表示されます。

[発信] をタップして発信します。いくつかのオプションを使用できます。表示されるオプションは、常に状況により異なります。つまり、意味のないオプションは表示されません。たとえば、[お気に入り] リストにすでに存在するエントリを選択した場合、[お気に入りに追加] は表示されません。

オプションについては、この後のページで詳しく説明します。

[連絡先] のリストについて

[連絡先] リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

[お気に入り]：自分で [お気に入り] に追加した連絡先です。通常、これらのエントリは頻繁に通話する相手か、便利な方法で迅速にアクセスする必要がある人です。

[ディレクトリ]：通常は、システム管理者によってシステムにインストールされている社内ディレクトリです。

[履歴]：発信、着信、または不在着信のリストです。

プライバシーのために、[履歴] リストをクリアすることができます（50 ページの「履歴」を参照）。

次のオプションが適用されます。

- 名前と番号を入力するだけで、すべてのリストが自動的に検索されます。
- タブをタップしてリストをスクロールすることも、名前か番号を入力することもできます。この場合は、検索が特定のリストでのみ実行されます。
- [お気に入り] のリストにエントリを追加したり、発信前にエントリの要素を編集したりすることができます。また、帯域を変更したり、[履歴] からエントリを削除したりすることもできます。詳細については、次のページを参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

発信前に、エントリを [お気に入り] に追加する

❶

図のように、[その他] (•••) をタップすると、オプションが表示されます。

❷

図のように、[お気に入りに追加] をタップします。

❸

仮想キーボードが呼び出されます。
必要な場合は、エントリを変更します。

❹

変更を適用したら、図のように [閉じる] をタップします。

❺

[保存] をタップして、変更を適用します。

❻

[お気に入り] のリストが表示され、操作が正常に実行されたことが示されます。

[お気に入り] のリストについて

[お気に入り] には、自分が追加した連絡先が表示されます。通常、これらのエントリは頻繁に通話する相手か、便利な方法で迅速にアクセスする必要がある人です。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

発信前にエントリを編集する

❶

図のように、[その他]（•••）をタップすると、オプションが表示されます。

❷

図のように、[編集して発信] をタップします。仮想キーボードが呼び出されます。

❸

編集内容を適用し、図のように緑色の [発信] ボタンをタップして発信します。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

発信前に帯域を変更する

❶

図のように、[その他]（•••）をタップすると、オプションが表示されます。

❷

図のように、[帯域] をタップします。

❸

図のように、スライダを動かして帯域を変更します。

帯域について

帯域は、通話に割り当てられている帯域幅の量を kbps（キロビット / 秒）で表す際に使用される用語です。帯域が高くなるほど、通話の質も高くなります。

帯域を変更する理由は ほとんどの場合、相手先のシステムと接続がサポートする帯域よりも高い帯域で通話する際に、ビデオ通話が停止するのを防止するためです。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

発信前に、[履歴] リストからエントリを削除する

1 つのエントリを削除する場合：

❶

図のように、[履歴から削除] をタップします。

❷

リストからエントリを削除するには [削除] を、エントリを削除しないでメニューを終了するには [キャンセル] をタップします。

❸

リストからエントリを削除するには [削除] を、エントリを削除しないでメニューを終了するには [キャンセル] をタップします。

[履歴] リスト全体をクリアする場合：

❶

必要に応じて [連絡先] をタップします。

❷

図のように、スクロールしてリストの先頭に移動します。

❸

図のように、[履歴のクリア] をタップします。

エントリの削除について

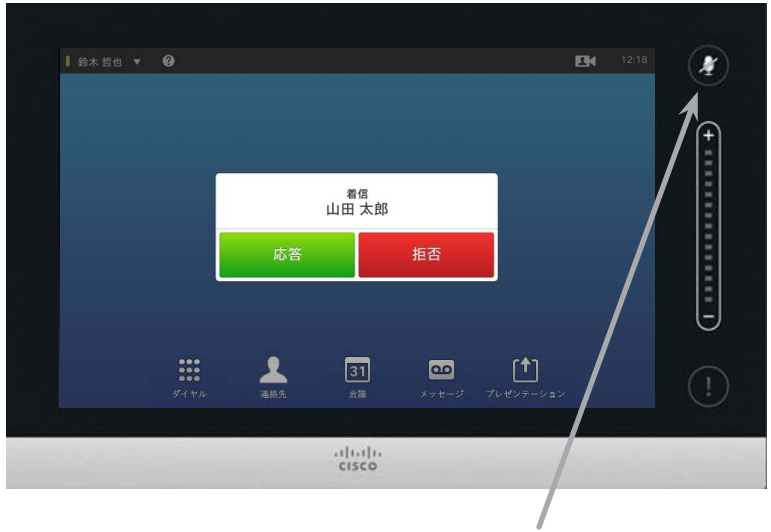
プライバシーのために、[履歴] リストからエントリを削除したり、リスト全体をクリアしたりできます。

同じ人からの着信や同じ人への発信が数回あったとします。この場合、通話のたびに、[履歴] リストにエントリが作成されます。

リストから 1 つのエントリの削除を選択しても、そのエントリの他の通話記録はリストから削除されないことに注意してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

着信を受ける



着信に自動的に応答するようにシステムを設定した場合（[自動応答]）、システムのマイクをミュートにして、プライバシーを守ることができます。

このマークが赤く点灯している場合は、マイクがミュートになっています。マイクをミュート / ミュート解除するには、このマークをタップします。

着信があった場合

- 他者からの着信があった場合は、それを受け入れたり、拒否したり、無視したりすることができます。
- 着信を拒否すると、通話中であるという情報が発信元に送信されます。
- 着信を無視すると、発信元はあなたが不在であると理解します。
- 着信に自動的に応答するように、システムを設定することができます（[自動応答]）。この機能については、65 ページの「[管理者設定] - [通話の詳細]」で説明しています。ビデオ サポート チームによって、この領域がパスワードで保護されている可能性があることに注意してください。
- [自動応答] をアクティブにした場合、マイクをミュートにしてプライバシーを守ることができます。これは、毎回手動で設定する必要があります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中に別の着信を受ける

- [追加] : システムに MultiSite オプションが装備されている場合は、着信を既存の通話とマージすることができます。この機能については、35 ページの「通話中に別の着信を受ける」を参照してください。

MultiSite オプションがインストールされていないシステムでも着信をマージすることはできますが、この場合は音声のみとなります（ビデオは表示されません）。

オプションについて

特定の状況下では、通話中に別の着信を受け入れることができます。

この機能については、31 ページの「ビデオ会議」の章を参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話を他者に転送する

❶

図のように、通話中に [転送] をタップします。

❷

通常の方法で、発信先を探します。

❸

通常の方法で発信します。

❹

[転送完了] をタップします。サイド バーにあるテキストも参照してください。

❺

これで、通話が転送されます。

転送について

基本的に、2 つの方法で通話を転送できます。つまり、無人転送と許可による転送です。

このページでは、無人転送について説明します。無人転送では、転送前に転送先に相談することなく、通話を転送することができます。

転送先に最初に相談する場合、スワップ機能を使用してから転送を実行します。詳細については、次のページを参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ポイントツーポイント ビデオ コール

2 人との通話中に、1 人とだけ話す

❶

通話中であるとします。図のように、[保留] をタップします。

❷

図のように [+ 新規発信] をタップするか、[再開] をタップして元の通話相手に戻ります（操作を元に戻します）。

❸

通常の方法で、発信先を探します。

❹

通常の方法で発信します。

❺

これで、元の相手先との通話を保留にしたまま、新しい通話が開始されます。

❻

2 人の相手先を切り替えるには [スワップ] を、通話の終了時に 2 人の相手先を接続するには [転送] をタップします。

この機能について

この機能を使用して、2 人との通話中に、1 人とだけ話すことができます。

通話の相手を切り替えたり、通話を終了したりするときに通話先の 2 人を接続することができます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中のタッチ トーン（DTMF）

図のように、通話中に [タッチトーン] をタップします。

DTMF について

通話中に、内線に接続するための番号を送信するように求めるメッセージや、他の番号（暗証番号など）を入力するように求めるメッセージが表示されることがあります。

番号を送信するには、タッチ スクリーンにキーパッドを呼び出す必要があります。

ここでは、DTMF（デュアルトーン マルチ周波数）という専門用語を使用しています。その名称が機能をそのまま示しています。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

出席者の詳細を取得する

図のように、通話中に、スクリーンを左から右に水平にスワイプします。

または、図のように、アバターの下にある小さな点のうち、白で示されていないほうをタップします。

この機能について

説明どおりに操作して、出席者とそのステータスのリストを呼び出します。ポイントツーポイント コールでは、リストには 2 人の出席者のみが表示されます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中に、相手先をお気に入りに追加する

❶

通話中に、アバターをタップします。

❷

図のように、[お気に入りに追加] をタップします。

❸

必要に応じて、エントリを編集します。

❹

図のように、[閉じる] をタップして、キーボードを非表示にします。

❺

図のように、[保存] をタップして、*新しいお気に入りを追加*します。

この機能について

他者をお気に入りのリストに追加するには、いくつかの方法があります。そのうち 1 つの方法を使用して、通話中に他者をお気に入りに追加することができます。

通話後に、通話の相手先をお気に入りのリストに追加する必要があったことに気が付くことがあります。そのような場合は、[履歴] をタップしてから [お気に入りに追加] をタップします。

この機能の詳細については、49 ページの「連絡先の管理」の章を参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中にカメラを制御する

カメラ プリセットを使用する場合：

❶

図のように、通話中に [自画面] をタップします。

❷

図のように、使用するプリセットを選択します。

❸

メニュー以外の場所をタップして終了します。

カメラのパン、傾斜、ズームを調整する場合：

❶

図のように、通話中に [自画面] をタップします。

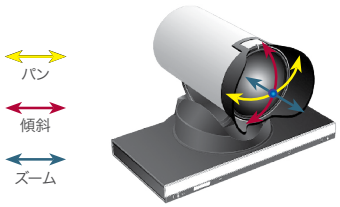
❷

システムに複数のカメラがある場合は、図のように調整するカメラを選択します。

❸

図のように、パン、傾斜、およびズームを調整します。

メニュー以外の場所をタップして終了します。



カメラ操作について

通話中には、既存のカメラ プリセットをすぐに使用できます。

ビデオ システムに複数のカメラがある場合があります。たとえば、1 つのカメラで出席者を映し、もう 1 つのカメラでホワイトボードを映している場合などです。

カメラのプリセットは、使用中のすべてのカメラに適用されることに注意してください。このため、プリセットをアクティブにする前に、特定のカメラを選択する必要はありません。詳細は、9 ページの「カメラのプリセットを追加する」を参照してください。

新しいカメラ プリセットを追加する手順、または既存のカメラ プリセットを変更する手順は、通話中ではないときの追加 / 変更手順と同じです。詳細は、10 ページの「既存のカメラ プリセットを編集する」を参照してください。

プリセットを追加または変更する代わりに、カメラのパン、傾斜、ズームを調整することも検討してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

他の出席者のカメラを制御する

❶

通話中に、アバターを
タップします。

❷

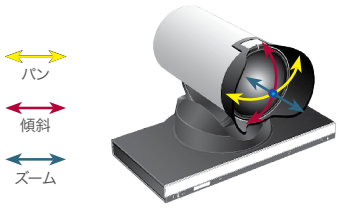
図のように、[カメラ] を
タップします。

❸

カメラのパン、ズーム、および
傾斜を調整します。

❹

図のように、[戻る] をタップ
してメニューを終了します。



カメラ操作について

ビデオ会議では、話している相手を示す「*相手先*」という用語がしばしば使用されます。

同様に、ビデオ ミーティングのこちら側の人を示す「*こちら側*」という用語もしばしば使用されます。

相手先のカメラを制御するには、相手先システムのカメラがリモートに制御可能である必要があります。手動でカメラを調整するシステムには、この機能を適用できません。

相手先のビデオ システムに存在するプリセットにはアクセスできません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence
Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20
SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

自画面 PiP を移動する

❶

図のように、必要な場合は [自画面] をタップし、自画面を呼び出します。

❷

図のように、自画面の領域内を指で長押しします。

❸

自画面が青で表示されたら、すぐに新しい場所にドラッグします。図のように、移動可能な場所が示されます。

❹

自画面を目的の場所に移動したら、指をタッチスクリーンから放します。

❺

これで、自画面が新しい場所に表示されます。

自画面を移動する理由

自画面では、自身のビデオ システムから他者に表示される映像を確認することができます。通常は、自画面を使用して、目的どおりの映像が他者に表示されるかどうかを確認します。

自画面は、PiP（ピクチャインピクチャ）で表示されます。

ミーティング中に、自画面をアクティブにする必要があるとします。たとえば、同じ部屋にいる絶えず移動している講演者がスクリーンに映っていることを確認したい場合などです。

このとき、スクリーン上の自画面の位置によっては、イメージの重要な部分が隠れてしまうことがあります。このような場合に、自画面を移動することができます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

自画面 PiP のサイズを変更する

❶

図のように、必要に応じて [自画面] をタップし、自画面を呼び出します。

❷

図のように、自画面のアバターをタップします。

❸

これで、[最大化] をタップして、自画面を全画面に表示することができます。

自画面を最小化または非アクティブにするには、自画面アイコンをもう一度タップして、操作を繰り返します。

また、自画面アイコンを使用して、自身のカメラを制御することもできます。

自画面のサイズを変更する理由

自画面では、自身のビデオ システムから他者に表示される映像を確認することができます。通常は、自画面を使用して、目的どおりの映像が他者に表示されるかどうかを確認します。

自画面は、PiP（ピクチャインピクチャ）で表示されます。

ミーティング中に、自画面をアクティブにする必要があるとします。

他の出席者が見やすくなるように、カメラをズーム、パン、または傾けることができます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

進行中のビデオ通話に出席者を追加することにより、ビデオ ミーティングがビデオ会議に拡張されます。

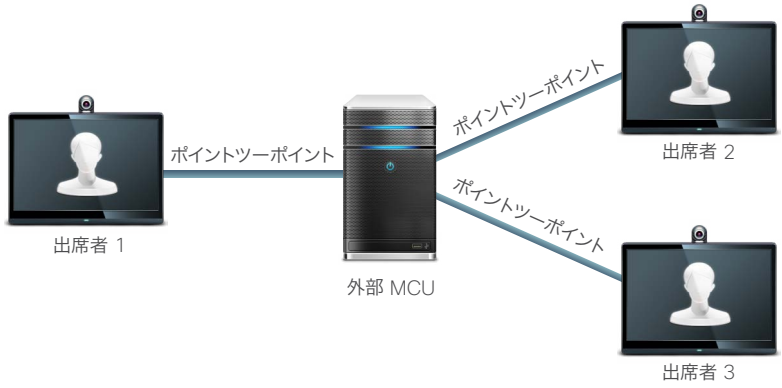
ビデオ会議

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ビデオ会議を作成する

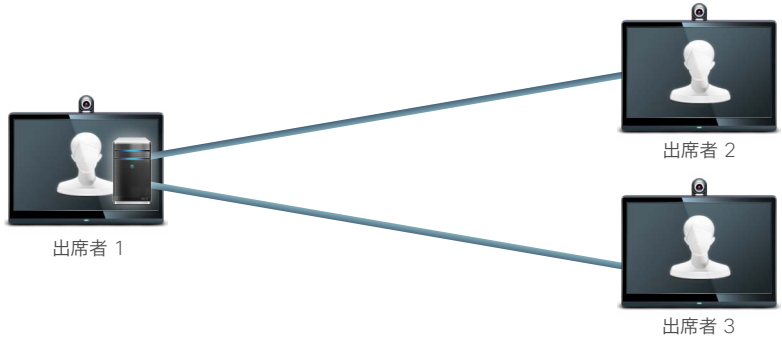
外部 MCU を使用するビデオ会議（Multiway を使用 / 不使用）

同時出席者数の制限は、実装されている構成により異なります。



MultiSite を使用するビデオ会議（埋め込み MCU と同じ）

同時出席者の最大人数は自分自身を含む 4 人と、音声のみで参加する出席者 1 人です。



出席者 2 と出席者 3 は、この通話を MCU とのポイントツーポイント コールとして実行します。このため、これらの出席者のシステムに、会議機能が組み込まれている必要はありません。

これは、システムにインストール可能なオプション機能です。

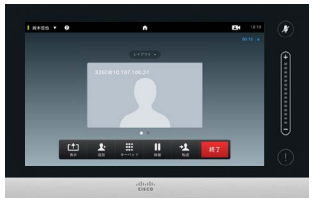
ビデオ会議が可能なシスコのビデオ システムでは、3 つの方法で複数の人との通話に参加することができます。つまり、次のような方法です。

- **マルチポイント コントロール ユニット (MCU)**：これは、複数のソースからの通話を相互に接続するブリッジです。すべての出席者が MCU ユニットを呼び出すか、MCU によって出席者が呼び出されます。つまり、すべての出席者が MCU とのポイントツーポイント コールを行うことになります。オフィスで MCU を使用している場合は、システム管理者に操作の詳細を問い合わせてください。
- **MultiSite**：ビデオ システムに組み込まれているオプションの MCU です。これを使用して、複数の人に発信することができます。通話に使用するビデオ システムには会議機能は必要ありません。最大出席者数は自分を含む 4 人と、音声のみで参加する出席者 1 人です。
- **Multiway**：複数の人との通話が開始されると、すぐにその通話を外部 MCU に転送するオプションの機能です。ただし、この機能は、システムから直接制御することができます。MCU を呼び出して、操作を実行する必要はありません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

MultiSite を使用して複数の人に発信する

❶



すでに通話中であるとします。この通話は、あなたか別の人（他の人があなたに発信した場合）が開始しました。

❷

図のように、[追加] をタップします。

❸

通常の方法で、発信先を探します。

❹

通常の方法で発信します。発信する前に、その通話の*通話設定*を変更することができます（このページのサイド バーを参照）。

❺

この新しい通話は既存の通話に追加され、会議が作成されます。図のように、最初の通話を終了することなく、この通話をキャンセルすることができます。

❻

さらに出席者を追加するには、この手順を繰り返します。最大で 4 人のビデオ会議出席者（自分自身を含む）と 1 人の音声会議出席者を会議に含めることができます。

自分で会議を開始した場合は、会議そのものを終了することもできます。他の出席者は、会議に対する自分の接続のみを切断することができます。

これは、システムにインストール可能なオプション機能です。

MultiSite について

ビデオ システムにオプションの MultiSite 機能が装備されている場合は、複数の人に発信して、ビデオ会議を開始することができます。

MultiSite 機能を使用して、ビデオを提供する 3 つのシステムと音声のみを提供する 4 つめのシステム（携帯電話など）を呼び出すことができます。

つまり、会議には、最大で 4 人のビデオ会議出席者（自分自身を含む）と 1 人の音声会議出席者を含めることができます。

ビデオ会議を開始する場合は、出席者に 1 人ずつ発信する必要があります。

通話設定：発信する相手によって、ビデオ システムの機能が異なる場合があります。たとえば、一部の出席者が ADSL システムを使用しており、他の出席者と比べると帯域幅が限られていることがあります。そのような出席者のシステムに適した（通常は低い）帯域に*通話設定*を設定してから、出席者に発信することができます。ただし、この帯域は、ビデオ会議の特定の出席者にのみ影響を与えます。このように設定しても、他の出席者の帯域は低くなりません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Multiway または CUCM を使用して複数の人に発信する

❶

すでに通話中であるとします。この通話は、あなたか別の人（他の人があなたに発信した場合）が開始しました。[追加] をタップします。

❷

発信先を探します。

❸

通常の方法で発信します。

❹

図のように、[マージ] をタップして会議を作成します。

❺

会議が作成されるまでに、少し時間がかかることがあります。

❻

さらに出席者を追加するには、この手順を繰り返します。出席者の最大数は、ビデオ システム インフラストラクチャにより異なります。分からない場合は、ビデオ サポート チームに問い合わせてください。

自分で会議を開始した場合は、会議そのものを終了することもできます。他の出席者は、会議に対する自分の接続のみを切断することができます。

これは、システムにインストール可能なオプション機能です。

Multiway/CUCM について

Multiway 会議の最大出席者数は、組織に実装されているビデオ インフラストラクチャにより異なります。分からない場合は、ビデオ サポート チームに問い合わせてください。

ビデオ会議を開始する場合は、出席者に 1 人ずつ発信する必要があります。

通話設定： 発信する相手によって、ビデオ システムの機能が異なる場合があります。たとえば、1 人の出席者が ADSL システムを使用しており、他の出席者と比べると帯域幅が限られていることがあります。そのような出席者のシステムに適した（通常は低い）帯域（帯域幅）に*通話設定*を設定してから、出席者に発信することができます。ただし、この帯域は、ビデオ会議の特定の出席者にのみ影響を与えます。このように設定しても、他の出席者が低い帯域に悩まされることはありません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中に別の着信を受ける

オプションについて

すでに通話中であるとします。別の着信があった場合は、次のいずれかの操作を実行できます。

- 通話を拒否し、前の通話を続行します。
- 現在の通話を保留にして、新しい通話を受け入れます。2 つの通話をいつでもスワップすることができます。詳細については、23 ページの「2 人との通話中に、1 人とだけ話す」を参照してください。
- 着信を他の人に転送することができます。この中には、自分が話していた相手も含まれます。この機能については、22 ページの「通話を他者に転送する」で説明しています。
- 着信を保留にした後で、この通話を既存の通話とマージすることができます（オプション機能）。
- 着信は進行中の通話に直接マージできます（[許可してマージ]）。これは、MultiSite が装備されているシステムにのみ適用されます。

[1] システムに MultiSite が装備されている場合は、 着信を現在の通話にマージできます。
MultiSite がインストールされていないシステムでも着信をマージすることはできますが、この場合は音声のみとなります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中にレイアウトを変更する

レイアウトを変更する場合：

❶

ビデオ スクリーンで既存のレイアウトを変更するには、図のように [レイアウト] をタップします。

❷

図のように、使用する新しいレイアウトをタップします。

❸

新しいレイアウトが適用されます。

自画面 PiP をレイアウトに追加する場合：

図のようにタップして、自画面 PiP を含めます。

レイアウトのオプションについて

通話中に、スクリーンのレイアウトを変更することができます。タッチ パッドに使用可能なオプションが表示されます。実際のオプションは、ここに表示されているものと異なることがあります。ただし、タッチ パッドには常に使用可能なオプションが表示されます。

WYSIWYG（what you see is what you get）の原理がここにも適用されています。

自画面を含める場合

自画面は、通常の方法でレイアウトに追加することができます。また、必要に応じて自画面を別の場所に移動することもできます。

29 ページの「自画面 PiP を移動する」を参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

出席者とステータスのリストを呼び出す

リストは、すべての出席者の情報と現在のステータスを知る上で便利な方法です。

また、リストを使用して、出席者と会議との接続を切断したり、出席者に特定の権限を付与したりすることができます。たとえば、他者が話し始めた場合でも、プレゼンターとしての立場を保持することができます。これらの機能については、この後のページで説明します。

❶

図のように、通話中に指を左に向けて水平にスワイプします。

または、図のように、小さな点のうち、白で示されていないほうをタップします。

❷

リストに、プレゼンテーションを行っている出席者（プレゼンテーションの実施方法については、このドキュメントの後の章で説明します）、話している出席者、および保留になっている出席者がいる場合はその出席者も表示されます。

左に向かってスワイプするか、別の点をタップして初期状態に戻ります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

他の出席者と会議の接続を切断する

❶

図のように、接続を切断する出席者をタップします。

そのためには、権限が必要です。

また、出席者のリスト（前のページを参照）を呼び出して、そのリスト内の出席者をタップすることもできます。

❷

図のように、[ドロップ] をタップして、選択した出席者の接続を切断します。

この機能について

権限を与えられている出席者は、他の出席者の接続を切断することができます。図のようにビュー内で、または出席者のリスト（前のページを参照）で出席者をタップします。図のように、[ドロップ] をタップします。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[プレゼンターとして固定] - プレゼンターを固定する

❶

1 人の出席者がプレゼンターとして表示されているレイアウトで、プレゼンターのアバターをタップします。

このレイアウトの例では、出席者の 1 人がプレゼンターとして表示されています。つまり、出席者の 1 人が他の出席者よりも大きく表示されています。

❷

図のように、[プレゼンターとして固定] をタップします。

[プレゼンターとして固定] をタップすると、このフィールドの名前が [プレゼンターを解除] に変更されます。

プレゼンターを解除するには、同じ手順を繰り返します（[プレゼンターを解除] をタップ）。

[プレゼンターとして固定] について

出席者の 1 人が他の出席者よりも大きく表示されるようにシステムを設定しているとします。

この出席者以外の出席者が話し始めると、システムが切り替わり、話し始めた出席者のイメージが表示されます。この動作を避けるには、現在の出席者をプレゼンターとして固定します。こうすると、この人物が常にプレゼンターとして表示されます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

出席者の 1 人をお気に入りに追加する

❶

お気に入りにする出席者をタップします。

❷

次に、図のように、[お気に入りに追加] をタップします。

これで、[お気に入りに追加] ダイアログボックスが呼び出されます。このボックスの使用方法については、26 ページの「通話中に、相手先をお気に入りに追加する」で説明しています。

お気に入りへの追加について

他者をお気に入りのリストに追加するには、いくつかの方法があります。そのうち 1 つの方法を使用して、通話中に他者をお気に入りに追加することができます。

お気に入りのリストに追加する人を選択したら、その後の手順は 26 ページの「通話中に、相手先をお気に入りに追加する」で説明されている手順と同じです。このため、ここでは説明していません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

他の出席者のうち 1 人のカメラを制御する

❶

制御対象のカメラを持つ出席者をタップします。

❷

図のように、[カメラ] をタップします。

これで、[カメラ操作] ダイアログボックスが呼び出されます。このボックスの使用方法については、28 ページの「他の出席者のカメラを制御する」で説明しています。

カメラ操作について

ビデオ会議では、話している相手を示す「*相手先*」という用語がしばしば使用されます。

ビデオ会議では「相手先」は複数いるため、これはあいまいな用語です。

このため、最初に、どの出席者のカメラを制御するかを定義する必要があります。

カメラを制御する出席者を定義したら、その後の手順は 28 ページの「他の出席者のカメラを制御する」で説明されている手順と同じです。

相手先のカメラを制御するには、相手先システムのカメラがリモートに調整可能である必要があります。手動でカメラを調整するシステムには、この機能を適用できません。

相手先のビデオ システムに存在するプリセットにはアクセスできません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通話中、または通話中ではない場合でも、コンテンツを共有することができます。後者の場合は、ビデオ システムを使用して、ローカルの会議室でコンテンツを共有します。

コンテンツの共有

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

プレゼンテーションを開始 / 停止する

❶

必要な場合は、[表示] をタップし（**a**）、水平にスクロールして（**b**）プレゼンテーション ソースを探します。プレゼンテーション ソースが見つかったら、目的のソースをタップします。

❷

プレゼンテーションを停止するには、[表示の停止] をタップします（**a**）。

図のように、ここで連絡先カード（図には表示されていない）が呼び出されることがあります（**b**）。

連絡先カード機能についての詳細は、37 ページの「出席者とステータスのリストを呼び出す」を参照してください。

コンテンツの共有について

Cisco TelePresence のほとんどのビデオ システムでは、ビデオ通話、ビデオ会議、また通話中ではない場合でもプレゼンテーションを表示することができます。後者の機能により、システムを使用して会議室でローカルなプレゼンテーションを行うことができます。このため、ビデオ システムと会議室自体の用途が広がります。

プレゼンテーション中に、スクリーンのレイアウトを変更することができます。詳細については、次のページを参照してください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

レイアウトを変更する

❶

図のように、[レイアウト] をタップして、レイアウトのオプションを呼び出します。

❷

目的のレイアウトをタップして選択します。

プレゼンテーションのレイアウトについて

プレゼンテーション中に、スクリーンのレイアウトを変更することができます。通常は、発表者を表示するかどうか、および発表者を PiP（ピクチャ イン ピクチャ）と PoP（ピクチャ アウトサイド ピクチャ）のどちらで表示するかを選択できます。

システムで使用可能なレイアウトのオプションは、ここに表示されているものと異なる場合があります。ただし、常に、選択可能なレイアウトが表示されます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ビデオ ミーティングをスケジュールすることができる管理システムに、ビデオ システムを接続することができます。こうすると、スケジュールされているミーティングがタッチ デバイスの*会議リスト*に表示されます。

スケジュールされたミーティング

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

スケジュールされたミーティング

ミーティングのリストを呼び出す

❶

[会議] をタップして、ミーティングのリストを呼び出します。

❷

通常、ミーティング リストは次のように表示されます。

リスト内のミーティングをタップすると、そのミーティングの詳細が表示されます。

図のように、小さな展開記号をタップすると、さらに詳しい情報が表示されます。

情報ボックスを折りたたむには、もう一度タップします。

ミーティング リストの基礎

ビデオ ミーティングを予定することができる管理システムに、ビデオ システムを接続することができます。こうすると、スケジュールされているミーティングがミーティング リストに表示されます。

ミーティング リストには、今後 14 日以内に行われる予定のミーティングが表示されます。この設定は、ビデオ サポート チームによって変更されている場合があります。リストは、グループのヘッダーを使用してソートすることができます。主なグループ カテゴリは日付順です（今日、明日、水曜日、2013/10/20 など）。

リスト内の項目をタップすると、詳細が表示されます。

スケジュールされたミーティングがプライベート会議として表示される場合は、主催者についての情報のみが表示されます。タイトル、展開可能なミーティングの概要、およびダイヤルイン情報は表示されません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20
SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

スケジュールされたミーティングに参加する

リスト内のミーティングをタップすると、そのミーティングの詳細が表示されます。

スケジュールされたミーティングの開始時刻と終了時刻は、ミーティング情報を展開すると表示されます。

進行中のミーティングを延長する

スケジュールされたミーティングの開始時刻と終了時刻は固定されています。進行中のミーティングを延長することができます。関連するビデオ システムに他のミーティングがスケジュールされていない場合は、延長可能な時間だけミーティングが自動的に延長されます。

延長可能な場合は、[会議が終了します] 通知に [延長] オプションと [表示を消す] オプションが表示されます。

ミーティングを延長するには、[延長] ボタンをタップします。

デフォルト設定では、最長で 10 分前から会議に参加することができます。ただし、システム管理者が別の設定を実装している可能性があります。

スケジュールされているミーティングには自動的に参加することができます。または、[会議に参加] をタップする必要があります。

ミーティングが開始されるとメッセージが表示され、すぐにミーティングに参加するか、5 分後に再度メッセージを表示するか、またはメッセージを閉じるかを選択できます。

通話中にミーティングが開始された場合もメッセージが表示され、通話中に他者からの着信があった場合と同じように、現在の通話を保留にして会議に参加するかどうかを選択できます。

参加について

ミーティングに参加することが可能になると、ビデオ システムにミーティング リマインダが表示されます。ミーティング リマインダが表示されるタイミングは、*開始時刻のバッファ* 設定により異なります。デフォルトのバッファ設定は 10 分ですが、ビデオ サポート チームによって変更されている可能性があります。この設定時間よりも前に、ミーティングに参加することはできません。

ミーティング リマインダには、ミーティングの開始時刻、またはミーティングが始まってからの経過時間（進行中のミーティングは [進行中のミーティング] として示されます）を表す時間インジケータが表示されます。

ミーティングの予定開始時刻の 30 秒前から 30 秒後までの間、「今すぐ開始」というテキストが表示されます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

並行ミーティング

同時に開かれるミーティングを「並行ミーティング」といいます。この例のミーティング名は、そのミーティングが並行ミーティングであることを示すために使用しています。

*並行ミーティング*が発生する（2 つ以上のミーティングが同時に開かれる）たびに、ミーティング リストに通知が表示され、今後のミーティングがすべて表示されます。参加するミーティングを選択し、そのミーティングに参加します。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

連絡先は、[ディレクトリ]（通常は社内電話帳）、[履歴]（最近の通話のリスト）、および [お気に入り]（自分が頻繁に通話する人か、簡単にアクセスする必要がある人が含まれる個人的なリスト）の 3 つの部分で構成されています。

連絡先の管理

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

履歴

[履歴] リストにアクセスする場合：

❶

図のように、[連絡先] をタップします。

❷

リストをスクロール **(a)** するか、[検索またはダイヤル] フィールドをタップ **(b)** して仮想キーボードを呼び出し、名前、番号、または住所を入力します。入力すると同時に、候補のエントリが表示されます。

1 つのエントリを削除する場合：

❶

[履歴] リストでエントリをタップして選択します。次に、図のように [その他]（•••）をタップします。

❷

[履歴から削除] をタップして、エントリを削除します。確認メッセージが表示されます。

プライバシーのために、[履歴] リストからエントリを削除したり、リスト全体をクリアしたりできます。

同じ人からの着信や同じ人への発信が数回あったとします。この場合、通話のたびに、[履歴] リストにエントリが作成されます。

リストから 1 つのエントリの削除を選択しても、そのエントリの他の通話記録はリストから削除されないことに注意してください。

[履歴] リスト全体をクリアする場合：

❶

必要に応じて [連絡先] をタップします。

❷

図のように、スクロールしてリストの先頭に移動します。

❸

図のように、[履歴のクリア] をタップします。

[履歴] について

[履歴] には、リストが最後にクリアされてからの着信、発信、および不在着信が含まれています。

エントリをタップして、次の操作を実行できます。

- [発信] をタップして、エントリに発信します。
- エントリを進行中の通話に追加します（オプション）。
- エントリを [お気に入り] に追加します。
- エントリ情報を編集してから発信します。
- 帯域設定を変更します。
- エントリをリストから削除します。
- リスト全体をクリアします。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

ディレクトリ

リストをスクロールして、[ディレクトリ] 内のエントリを探す場合：

❶

図のように、[連絡先] をタップします。

❷

必要な場合は、[ディレクトリ] をタップします。

❸

図のように、リストをスクロールしてエントリを探します。

[ディレクトリ] 内のエントリを検索で探す場合：

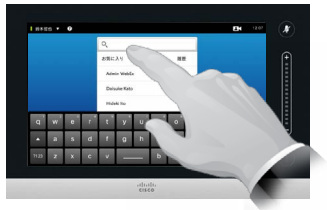
❶

図のように、[連絡先] をタップします。

❷

必要な場合は、[ディレクトリ] をタップします。

❸



図のように、[検索またはダイヤル] をタップして仮想キーボードを呼び出し、名前、番号、または住所を入力します。入力すると同時に、候補のエントリが表示されます。

ディレクトリについて

[ディレクトリ] は、社内電話帳としての役割を果たします。このディレクトリを編集することはできません。ただし、エントリを [お気に入り] のリストにコピーした上で編集することはできます。

フォルダをタップしてそのコンテンツを表示します。必要な場合は、ディレクトリをスクロールしてフォルダやフォルダ内のエントリを探します。

エントリが見つかったら、それをタップして、[履歴] リストの場合と同じ方法（詳細については前のページを参照してください）で発信、編集、またはお気に入りのリストに追加します。

社内ディレクトリ内で検索する場合、検索は現在のディレクトリ フォルダとそのサブフォルダにのみ適用されます。1 つ上のレベルに移動するには、[戻る] をタップします。検索を社内ディレクトリ全体に適用する場合は、検索を開始にする前に、フォルダを入力（タップ）しないでください。

ディレクトリからお気に入りのリストにコピーしたエントリが、その後ディレクトリ内で更新されることがあります。この更新はお気に入りのリストに反映されません。この場合は、お気に入りのリストで、該当のエントリを手動で更新する必要があります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

連絡先の管理

お気に入り

[ディレクトリ] または [履歴] のエントリを [お気に入り] リストに追加する場合：

❶

[連絡先] パネルで、必要に応じて [ディレクトリ] または [履歴] をタップします。

❷

図のように、リストをスクロールしてエントリを探します。

❸

図のように、目的のエントリをタップし(**a**)、次に [その他]（•••）をタップします（**b**）。

❹

図のように、[お気に入りに追加] をタップします。

❺

[保存] をタップしてメニューを終了し、変更を適用します。名前または URI をタップした場合は、エントリを編集できます。

[お気に入り] のリストにエントリを手動で追加する場合：

❶

図のように、[検索またはダイヤル] をタップして、仮想キーボードを呼び出します。

❷

名前、番号、または住所を入力します。入力すると同時に、候補のエントリが表示されます。

❸

目的のエントリが見つかった場合はそのエントリをタップして(**a**)、図のように小さな矢印をタップします（**b**）。その後、上記の手順 **3** から実行します。

お気に入りについて

[お気に入り」*は*、自分が頻繁に通話する人か、簡単にアクセスする必要がある人の連絡先のリストです。

[お気に入り] には、[履歴] または [ディレクトリ] のリストから入力することも、手動で入力することもできます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

設定の管理

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence
Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20
SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

設定にアクセスする

❶

図のように、左上の小さな矢印をタップします。

❷

図のように、[設定] をタップします。

❸

図のように、リストをスクロールして目的の項目を探します。

バージョン情報管理

このガイドで使用方法が説明されているビデオ エンドポイントは、タッチ スクリーン コントローラまたは Web インターフェイスから設定できます。設定可能なパラメータすべてにアクセスするには、Web インターフェイスが必要です。タッチ パッドでは、一部のパラメータにのみアクセスすることができます。

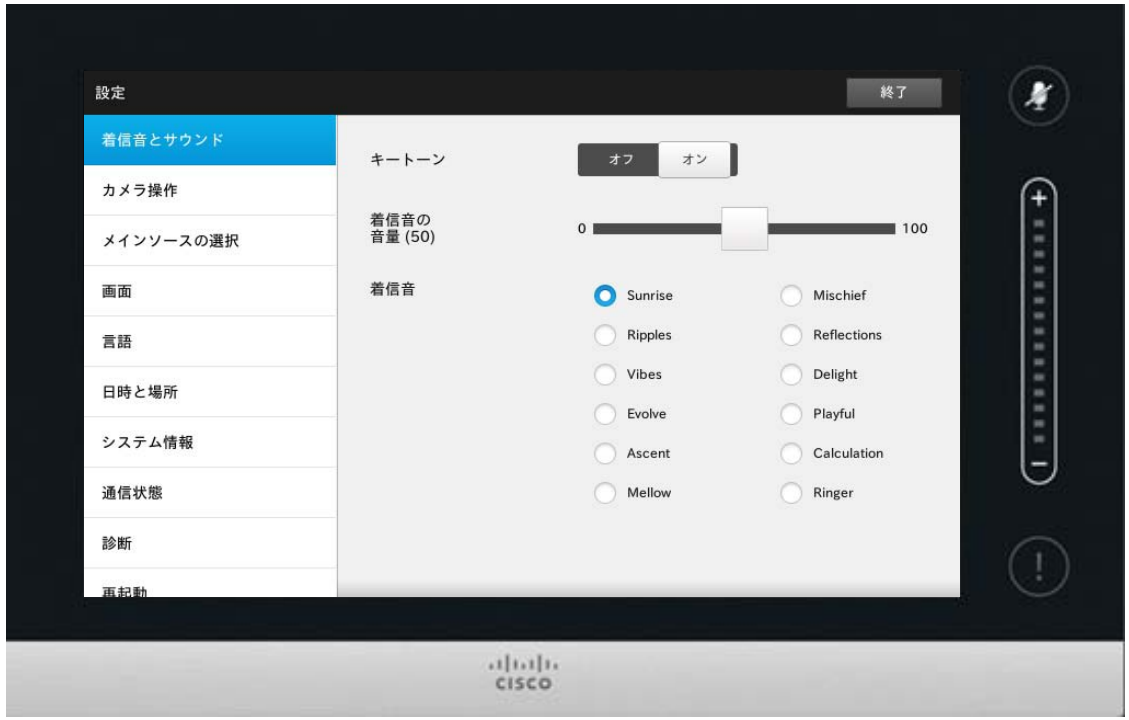
*設定*を変更する場合は、システムが動作を停止しないように注意を払う必要があります。分からない場合は、ビデオ サポート チームに問い合わせてください。

セキュリティ上の理由により、ビデオ サポート チームによって、管理者設定へのアクセスがパスワードで保護されている可能性があります。

*設定*を入力するには、図のように、左上にある [設定] アイコンをタップします。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

着信音とサウンド



[着信音とサウンド] について

[着信音とサウンド] 設定ウィンドウを使用して、次の項目を指定できます。

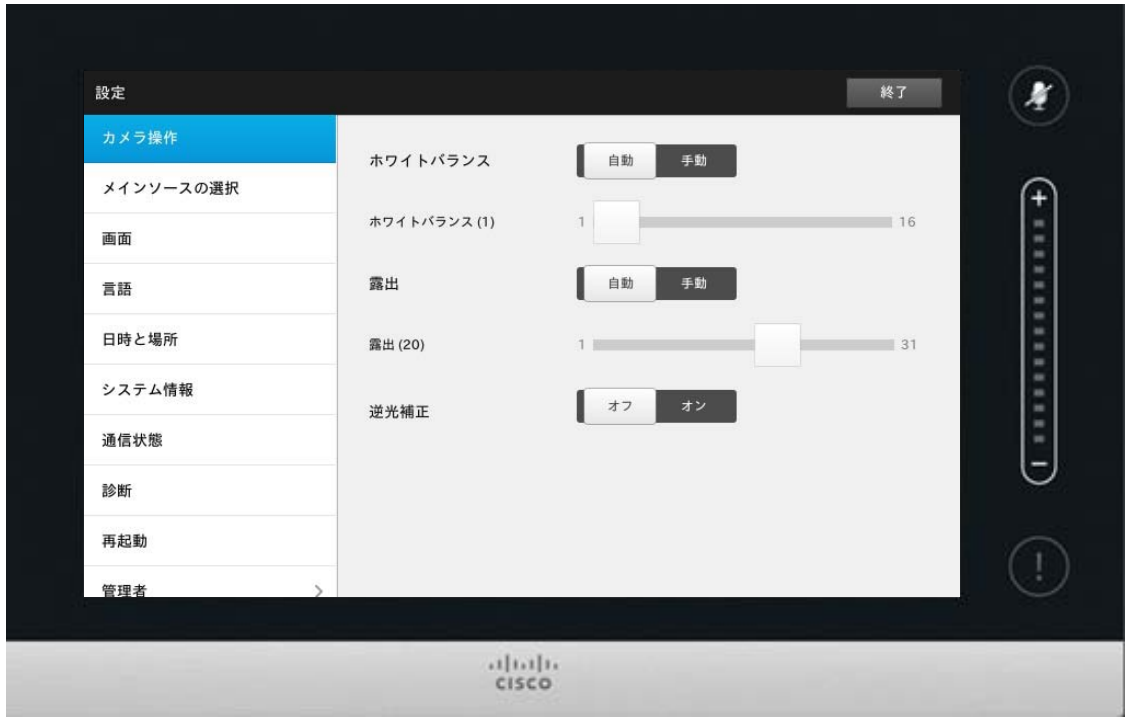
- [キートーン] : [オン] または [オフ] に設定できます。オンに設定すると、タッチ コントローラのフィールドをタップするたびに、サウンドが鳴ります。
- [着信音の音量] : 着信音の音量を設定できます。
- [着信音] : いくつかの着信音から選択できます。着信音をタップするたびに、サンプル音が鳴ります。

各設定を選択した場合にどのように表示されるかに注意してください。この例では、[キートーン] が [オン] に設定されています。

このメニューを終了して変更を適用するには、[終了] をタップします。変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

カメラ操作



カメラ操作について

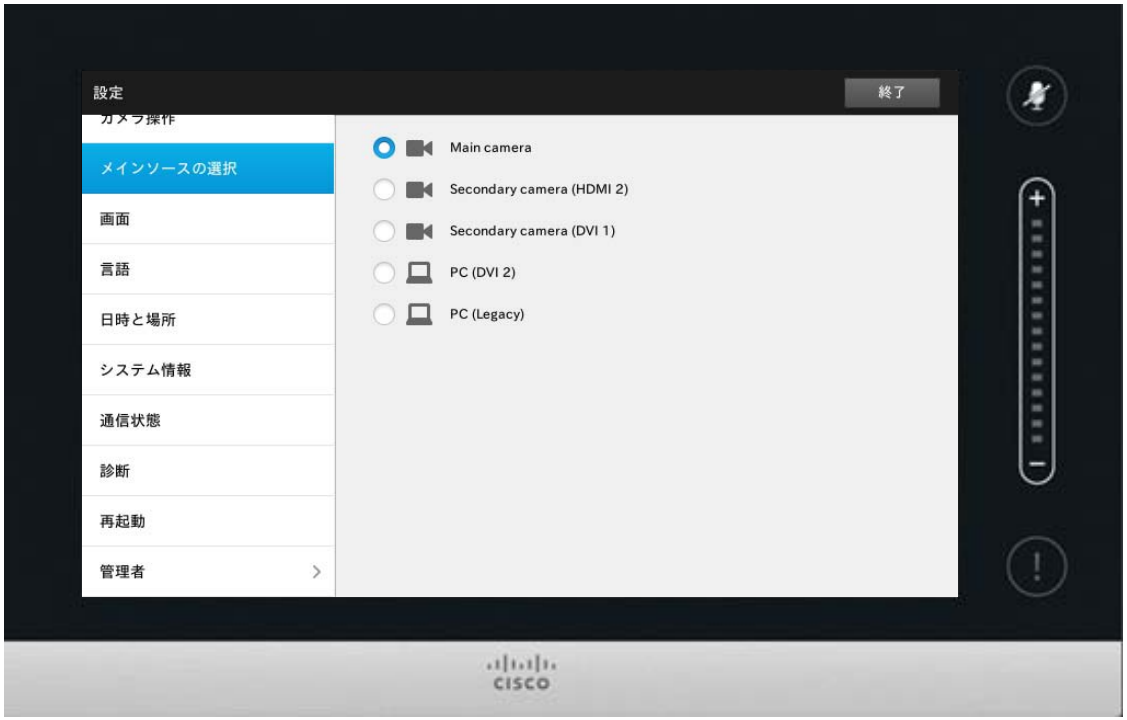
[カメラ操作] ウィンドウを使用して、 カメラのホワイトバランスと露出を設定することができます。自身で微調整しない場合は、 [自動] をタップして設定をシステムに任せます。

背後の光が強い場合は、逆光補正が役立ちます。補正しない場合、相手先に自分が暗く表示されます。

各設定を選択した場合にどのように表示されるかに注意してください。この例では、[逆光補正] が [オフ] に設定されています。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

メインソースの選択



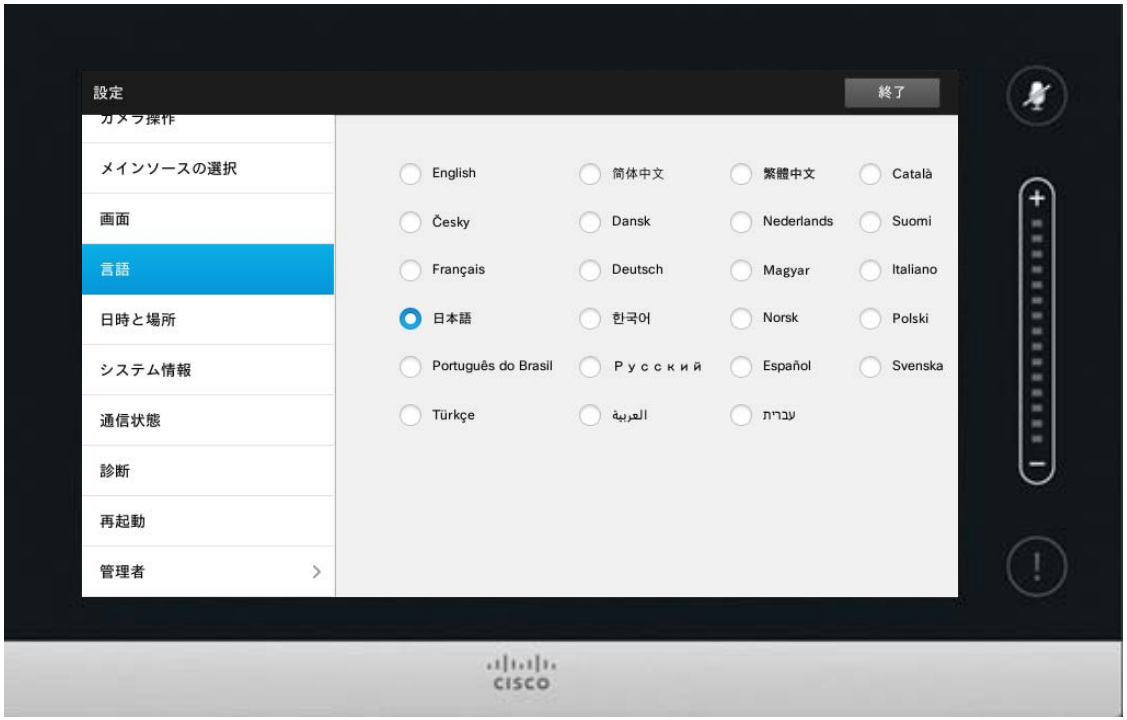
ソースの選択について

メイン ソースを選択します。システムの操作中に別のソースを選択することができます。ただし、ここで指定したソースがデフォルト設定になります。

使用可能なオプションはシステムにより異なります。使用するシステムによっては、より多くの数のオプションが表示されたり、少ない数のオプションが表示されたりすることがあります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

言語を選択する



言語の設定について

[言語] ページを使用して、タッチ インターフェイス メニューの言語を指定することができます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

日付と時刻を設定する

時刻の設定について

このウィンドウを使用して、使用する日付と時刻の表記形式、およびタイム ゾーンを指定することができます。

この例に示されているように、[日付と時刻モード] を [自動] に設定すると、NTP サーバが検索され、そのサーバから日付と時刻が取得されます。

この例に示されているように、[NTP モード] を [手動] に設定した場合は、NTP サーバのアドレスを指定して、処理が正常に実行されるようにする必要があります。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

システム情報

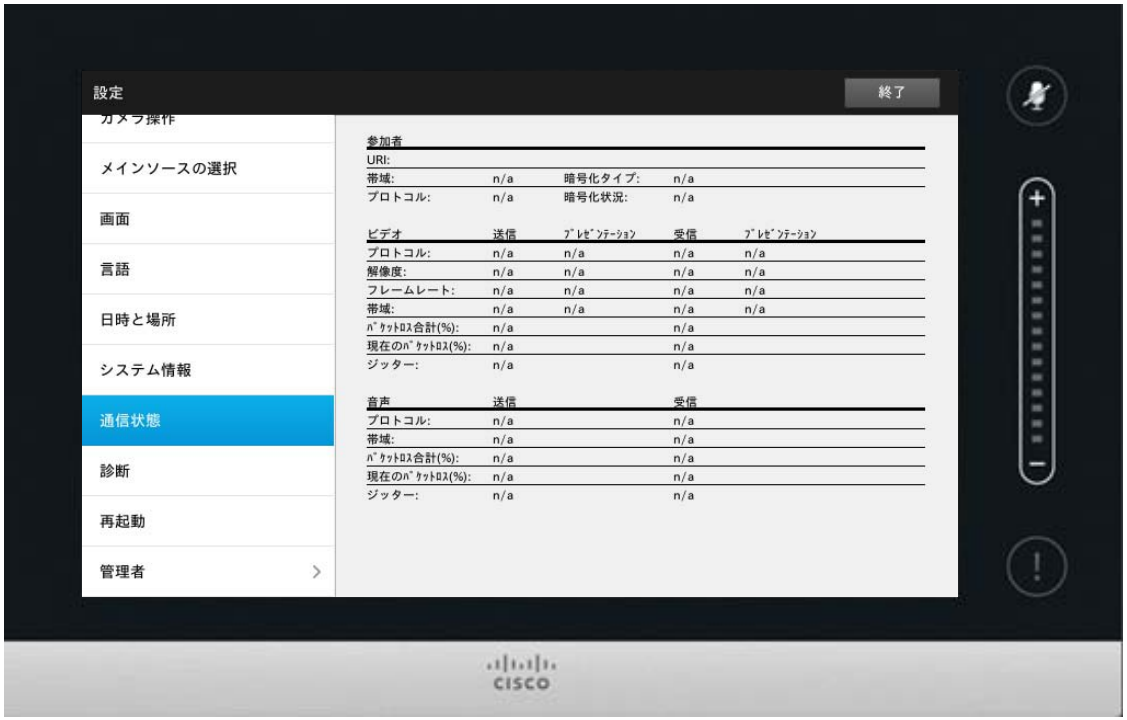
[システム情報] について

[システム情報] ウィンドウには、 システムのソフトウェア、 ハードウェアのバージョン、 および接続に関する情報、 SIP と H.323 のステータスなどが含まれています。

システムに不具合が発生した場合、技術スタッフからこれらの情報を提供するように求められます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

通信状態



[通信状態] について

[通信状態] ウィンドウには、帯域、暗号化、およびビデオと音声の重要なパラメータに関する情報が表示されます。

システムに不具合が発生した場合、技術スタッフからこれらの情報を提供するように求められます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

診断モード

[診断] について

トラブルシューティングのために、追加のシステム ログを有効にできます。画面の指示に従います。

進行中のシステム ログがシステムのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

システムに不具合が発生した場合、技術スタッフからこれらの情報を提供するように求められます。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

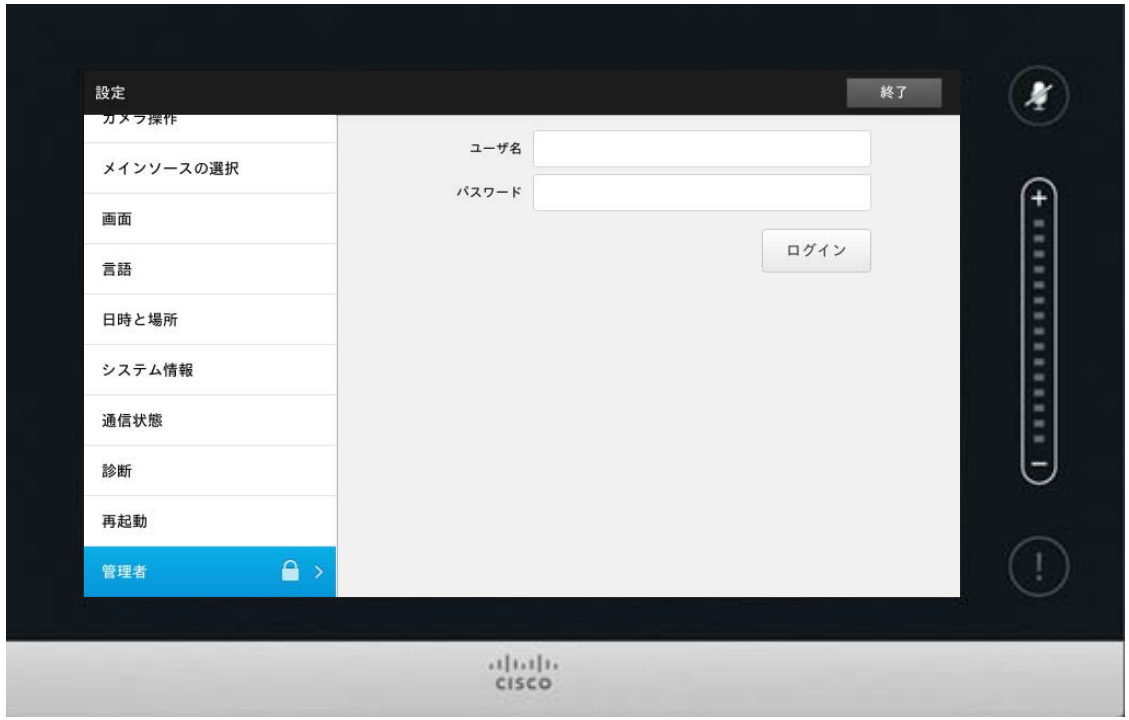
再起動

[再起動] について

この機能を使用して、システムを制御された正しい方法で再起動することができます。設定は失われません。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

管理者



[管理者] について

[管理者] 設定は、通常、ビデオ サポート チームによってパスワードで保護されています。

[ユーザ名] と [パスワード] を入力して、[ログイン] をタップします。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [通話の詳細]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

[通話の詳細] について

[自動応答] を有効にすると、指定された遅延の後に、システムが着信に自動的に応答します。自動応答をアクティブにすると、必要なプライバシーが得られない可能性があります。ここに示した例では、[自動応答] は [オフ] に設定されています。

場合によっては、通話の帯域幅（質）を変更する必要があります。一部の構成の受信帯域幅と発信帯域幅が異なることがあります（ADSL 接続の場合など）。デフォルトの帯域を指定して、ビデオの画質を安定させることができます。

デフォルトのプロトコルを指定することもできます。この例では、プロトコルは [SIP] に設定されています。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [プロビジョニングウィザード]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

ウィザードについて

*プロビジョニング ウィザード*を使用して、システムをオンラインにすることができます。[開始] をタップして、画面の指示に従います。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

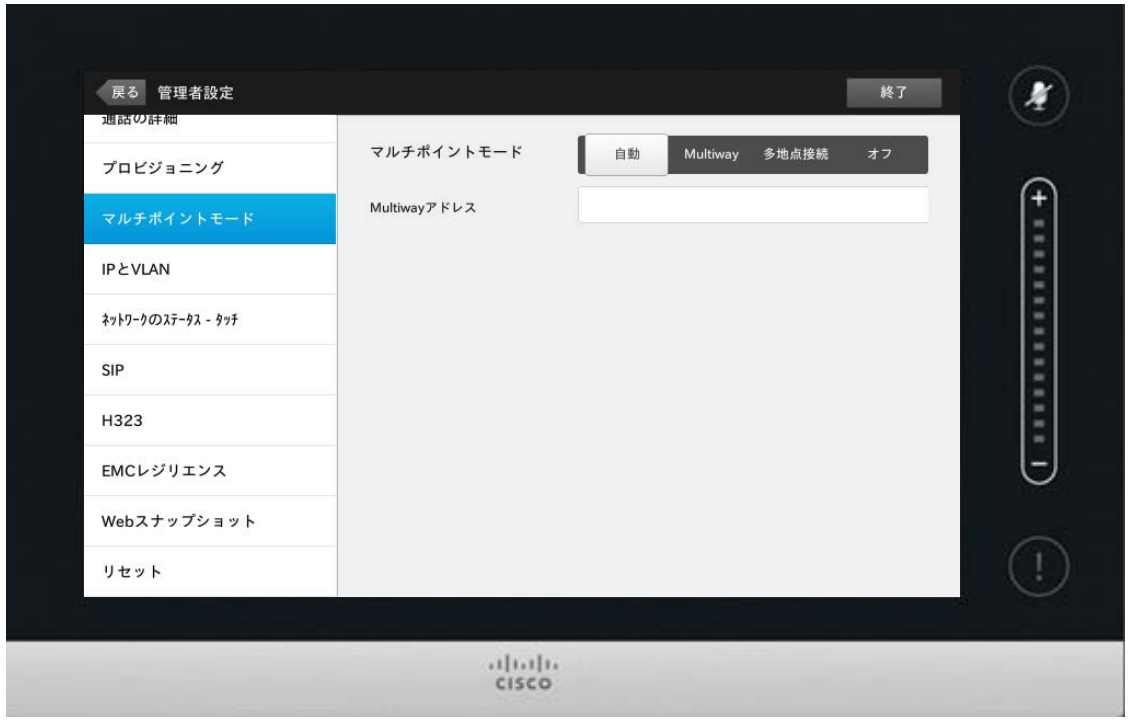
D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [マルチポイントモード]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。



マルチポイントについて

基本的に、ビデオ会議には MultiWay と MultiSite という 2 つのモードがあります。

- MultiWay を有効にするには、MultiWay アドレスをあらかじめ入力しておく必要があります。
- MultiWay アドレスが指定され、MultiWay が選択されている場合、ビデオ会議には MultiWay が常に使用されます。
- MultiWay アドレスが指定されている一方で MultiSite が選択されている場合は、MultiSite が使用されます。
- [自動] に設定した場合、MultiWay アドレスが指定されているときには MultiWay が使用されます。それ以外の場合は、MultiSite が使用されます。
- [オフ] に設定すると、ビデオ会議を実施できなくなります。
- MultiSite 機能を使用するには、MultiSite オプションが表示されている必要があります。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

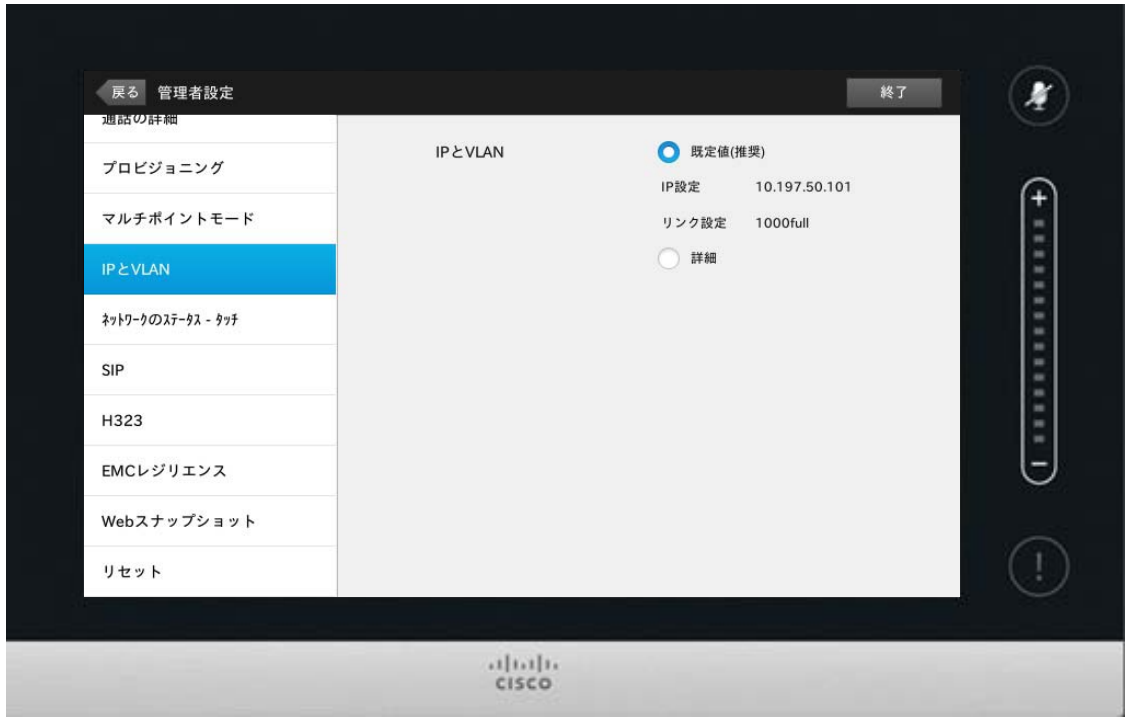
D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [IP と VLAN]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。



IP 設定について

IPv4 または IPv6 を使用するかどうか、また静的 IP アドレスまたは DHCP を使用するかどうかを指定することができます。

[静的] に設定した場合は、 適切なアドレスを設定する必要があります。

これらの設定をデフォルト値から変更する場合は、[詳細]（非表示）をタップします。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [ネットワークのステータス - タッチ]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

ネットワークのステータスについて

これは、システムに不具合が発生した場合に、タッチ コントローラの現在のネットワーク ステータスに関する情報をビデオ サポート チームに提供することを目的として設計されています。

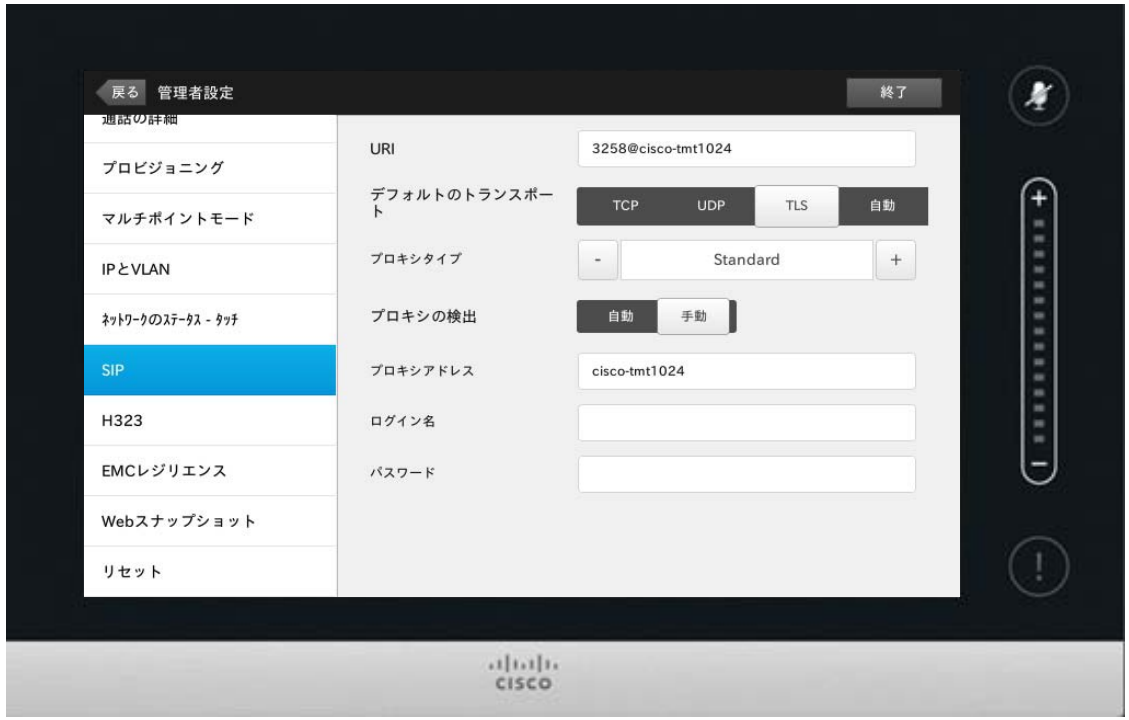
D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [SIP]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。



SIP 設定について

このページを使用して、SIP を設定します。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [H323]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

H323 設定について

このページを使用して、H323 を設定します。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [EMC レジリエンスモード :]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

[EMC レジリエンス] について

大量の電磁雑音が存在する環境でタッチ コントローラを使用する場合、誰もタッチ コントローラをタップしていないにも関わらず、誰かがタップしたかのような疑似信号が出現することがあります。

この問題に対処するには、[EMC レジリエンスモード :] を [オン] に設定します。次に、システムがタップを認識できるように、タップするときよりも少し長く押します。これで、スプリアス信号が出現しなくなります。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010–2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [Web スナップショット]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

スナップショットについて

ビデオ システムには Web インターフェイスからアクセスできます。詳細については、『Administration Guide』を参照してください。

Web インターフェイスでは、システムからのビデオ ストリームのスナップショットを生成することができます。また、相手先システムの発信ビデオからスナップショットを生成することもできます。

ただし、ここで示しているように、[Web スナップショットを許可 :] を [オン] に設定していない場合は、スナップショットを撮影できません。

通話が暗号化されている場合は、スナップショットを撮影できません。[Web スナップショットを許可 :] パラメータのローカル設定に関係なく、暗号化を行うと、相手先とこちら側の両方でスナップショット機能が無効になります。

Web スナップショット機能は、ポイントツーポイントと MultiSite の両方の通話に適用されます。ただし、暗号化されている通話には適用されません。

ここでは、MultiWay 通話はポイントツーポイント コールのバリエーションであると見なされます。これは、通話を制御しているのは MCU であり、システムはポイントツーポイント コールのときと同様に MCU に接続されるためです。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

[管理者設定] - [初期設定へのリセット]

[管理者設定] を終了するには、[戻る] をタップします。

[設定] を終了するには、[終了] をタップします。

変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

初期設定へのリセットについて

ビデオ システムを*初期設定にリセット*することができます。すべての設定、通話履歴、および連絡先のローカル リスト（お気に入りと履歴）がすべて失われることに注意してください。インストールされているリリース キーとオプションは維持されます。

注意： 変更を元に戻してメニューを終了する [キャンセル] 機能はありませんので、ご注意ください。

D1458217 ユーザ ガイド Cisco TelePresence Profile シリーズ、Codec C シリーズ、Quick Set C20 SX20 Quick Set、MX200、MX300
作成日：2013 年 11 月（TC7.0）
All contents © 2010-2013
Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。
「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)
この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先:シスコ コンタクトセンター
0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)
電話受付時間 : 平日 10:00〜12:00、13:00〜17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/